

【プログラム6：人との接し方について考えようⅡ ～電話での話し方～】

☆ねらい：電話のかけ方や受け方のロールプレイを通して、場や相手に応じた接し方が必要であることを知り、主体的な生活、豊かな人間関係を築こうとする心情を高める。

《プログラムの概要》

キーワードの例	電話での話し方
時 間	30分
人 数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループは4～6名がよい）
準備物	ワークシート（人数分）
主な活動	①電話のかけ方・受け方のロールプレイをする。 ②人と接するときに必要なマナーについて考える。 ③感想等を全体に紹介する。
気を付けること	○固定電話で話した経験がない生徒もいると思われる。学級の実態に応じて、固定電話と携帯電話の違いを簡単に確認したあと、活動に入るとスムーズである。 ○電話のかけ方・受け方のロールプレイを行うが、様々な言い方で話すことが予想される。ロールプレイはふざけないで行うこと、また、一人一人がしっかり考えロールプレイをしていることを確認し、おかしな言い方になっても笑わない等の確認を行う。
備 考	○進学や就職のための面接練習等と併せて本プログラムを活用することも考えられる。
学習指導要領 特別活動との関連	【高等学校 ホームルーム活動】内容（2）オ 【中学校 学級活動《現》】内容（2）オ 【中学校 学級活動《新》】内容（3）イウ